

令和4年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立飛驒特別支援学校高山日赤分校

学校番号	119B
------	------

自己評価

学校教育目標	主体的に生きる力を育てる ～気づく、考える、動く～
評価する領域・分野	学校周知
現状及びアンケートの結果分析等	アンケート結果では、学校の教育活動や学習指導に関わる項目について、肯定的な評価を得ており、また、昨年度より「わからない」の回答がなくなったり、減ったりしている。教育活動のホームページへの掲載、校外写真展等の実施、学校だよりや通信の発行、日々の連絡帳でのやりとりにより、学校の教育活動が周知されてきていると考える。昨年度に比べ、保護者が、直接教育活動を参観する機会があったことも影響していると思われる。地域の方は、保護者に比べ「わからない」の回答が多く、児童生徒の生活の場である地域への学校周知を進める必要がある。
今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページや学校だよりにより、当校の教育活動を、タイムリーに発信する。 ・ 写真展や作品展の開催、PTA会報の地域回覧や地域行事への参加により、学校周知を図る。 ・ QRコードによるホームページの紹介を積極的に行う。
重点目標を達成するための校内組織体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページでの教育活動の紹介 ・ 学習支援部を中心とした写真展等の計画、実施 ・ PTAと連携した地域への発信
目標の達成に必要な具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページに掲載する活動と担当者を年度当初に決め、タイムリーな配信に努める。 ・ 写真展等の場を拡大したり、開催についての広報を工夫したりする。 ・ PTA会報を地域に回覧したり、地域の芸能発表会で学校の紹介をしたりする。 ・ 写真展等の会場、学校だより、お礼として手渡す作業製品にホームページのQRコードを付けて、紹介する。
達成度の判断・判定基準あるいは指標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 写真展や作品展、ホームページ、通信等を通して、保護者や地域の方々に当校の教育活動について理解啓発ができたか。
取組状況・実践内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全校行事や各部、学年の活動を、ホームページで紹介した。また、学校だよりもホームページに掲載した。 ・ 写真展を児童生徒の居住している支所地域にも拡大して行った。また、新たに一か所、作品展の会場が増え、学校周知の機会が広がった。 ・ 作品展等の開催のポスターを作成し学校周辺に掲示した。また、まちづくり協議会の協力で、ラインで紹介していただいた。 ・ PTA会報を地域に回覧した。また、オンライン配信で実施された地域の芸能発表会で、学校の活動の様子を動画で紹介した。 ・ 寄付をいただいた方や来校者に、作業製品のはがきやポチ袋等を生徒より手渡し、学校の活動の紹介をした。 ・ ホームページのQRコードを、写真展等の会場や学校だより、手渡した作業製品に付けて紹介した。
評価の視点	評価
① ホームページや学校だよりで、保護者や地域の方々に当校の教育活動について	(A) B C D

タイムリーに発信することができたか。	
② 写真展等により、学校の教育活動や児童生徒の様子をわかりやすく伝えることができたか。	A (B) C D
③ 様々な機会をとらえ、学校周知に努めることができたか。	A (B) C D
成果・課題	総合評価
○計画的にホームページ掲載を行い、学校周知に努めることができた。 ○作品展や写真展では、温かい感想や励ましの言葉をいただき、地域の方々に当校の児童生徒や教育活動について知っていただくことができた。 ▲学校の教育活動の一層の周知を図るために、作品展等の展示を工夫する。また、地域の方と実際に関わる機会を検討していく。	A (B) C D
来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページでの積極的な発信を継続し、保護者や地域に当校の教育についての周知を図る。 ・作品展等を継続し、周知の方法や展示方法、展示内容を工夫し、学校や児童生徒への理解が深まるようにする。 ・地域に出て地域と関わる活動を行う。

学校関係者評価 (令和5年2月28日実施)

<p>意見・要望・評価等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真展等の報道、広報をよく目にするようになった印象がある。 ・ホームページ等で、教職員の学校を良くしていきたいという気持ちが伝わってくる。 ・地域の芸能発表会に学校紹介動画を配信したこと、まちづくり協議会のLINEで紹介したことは、まず目に触れるようにすることから始めるのに良い取組だったと思う。積極的に地域に働きかけ、繋がる機会は大変だと感じた。 ・作業製品にQRコードをつける取組は大変良いと思う。 ・作品展で、タブレットを置いて作品を作っている児童生徒の様子動画を流したらどうか。また、感想を書いていただくノートを交換日記のようにし、書いていただいた感想に対して、児童生徒が感想を書くのはどうか。ノートを通してのやりとりが、人と関わることにつながるのではないかと。 ・地域の方と実際に関わる機会を増やすために、PTAと協力してリサイクル活動はできないか。児童生徒がリサイクルのお願いの文書を近所の方に手渡したり、お礼に作業の製品をお渡ししたりすると、学校の活動を知っていただく機会が増えるのではないかと。
--